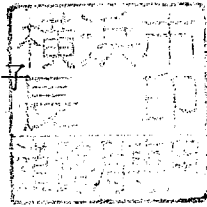


横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会
会長 比留間 哲生 様

横 浜 市 長 林 文 子



栄区の現状（回答）

平成 2 2 年 1 2 月 1 7 日付、上記内容の事項について回答します。

本市は、「横浜市基本構想」に掲げる目指すべき都市像の実現に向けた政策や工程を具体化するため、平成 22 年度を初年度とした「中期 4 か年計画」を策定しました。

その中の、横浜版成長戦略の「海と空のハブ戦略～経済活性化とそれを支える都市基盤整備の推進～」において、横浜港のハブポート化、羽田空港の国際ハブ空港化は、横浜の国際競争力を強化し、地域経済を更に活性化させる大きなチャンスと捉え、それを支えるために横浜市内と東名高速道路等を連絡する広域的な高速道路ネットワークの早期整備を推進することとしています。

しかし、市内の現状を見ると、幹線道路における交通渋滞は依然として解消しておらず、各所で渋滞が発生しており、渋滞に伴う時間損失や環境への影響など社会的損失は大きな課題となっています。渋滞解消を図るためには、今後も、高速道路や幹線道路網等による道路ネットワークの形成を推進し、効果的な道路交通サービスを提供していく必要があります。その実現のために、横浜環状北線・北西線・南線、並びにその関連街路を整備し、人、物、まちをつなぐ、環状道路ネットワークを構築してまいります。

南線は、首都圏 3 環状道路の一つである「首都圏中央連絡自動車道（圏央道）」の一部を構成し、横浜市内と東名高速・中央道・関越道等を連絡する、首都圏の広域道路ネットワークを構成する重要な道路であり、本市としても積極的に事業促進を図っています。現在、事業者である国土交通省及び東日本高速道路株式会社が事業を進めており、用地取得率については約 70 パーセントとなっています。

南線の事業を進めるに際し、これまでも説明会や話し合い、相談窓口等の開催を事業者とともに実施し、住民の皆様のご理解をいただけるよう努めてきました。

また、栄区では昨年 2 月、「栄区まちづくり行動計画」を策定しました。この計画は、栄区が将来にわたって活力・活気のある元気なまちであり続けるために、優先的に取り組む施策と実現に向けた行動計画を 14 に絞りまとめたもので、南線の整備促進についても取り上げました。

栄区では「栄区まちづくり行動計画」の策定プロセスで、住民の皆様との双方向性を確保しながら計画づくりに取り組みましたが、計画推進段階に入った今年度も、定期的に道路事業の必要性や進捗状況のお知らせを区内全域で回覧するなど、住民の皆様への継続的な事業周知や浸透に努めているところです。

さらに、事業者に対しましても、住民の皆様への情報提供や話し合いはもとより、出来る限り皆様の不安を解消するため、必要な対策を講じるよう求めてまいります。

今後とも、道路事業へのより一層のご理解とご協力をお願いします。